

～希少がんを知り・学び・集うセミナー！～

希少がん Meet the Expert

第1回「悪性黒色腫(メラノーマ)」開催レポート

人口 10 万人あたりの年間発生数が 6 例未満である「希少がん」は、“まれ”であるがゆえに、患者が得られる情報や学ぶ機会が非常に少ないのが現状です。そこで、専門医による希少がんに特化したセミナーが、国立がん研究センター希少がんセンター、認定 NPO 法人がんネットワークジャパン、がん情報サイト「オンコロ」の共催により始まりました。2017 年は今回より、全 12 回の開催です。



第1回目(1月13日)のテーマは「悪性黒色腫(メラノーマ)」。皮膚腫瘍科の山崎直也先生を講師に迎え、国立がん研究センター中央病院 希少がんセンターにて行われました。司会は、同センターの「希少がんホットライン」担当看護師・加藤陽子さんです。

会場は、定員である 30 名ほどの参加者と TV 局を含めた複数の報道陣に埋め尽くされ、本セミナーへの期待と注目の高さをうかがわせました。

山崎先生の講演では、メラノーマの治療に関する最新情報のお話がありました。内容は、現在使用・研究されている具体的な治療薬とその副作用についてや、免疫療法が期待される理由など、日本だけでなく世界でどのような現状にあるかといった詳しい解説で、参加者はメモを取りながら真剣に耳を傾けていました。



続いての Q&A では、山崎先生、加藤さんのほか、メラノーマ患者会「Over The Rainbow」代表の徳永寛子さん、解説としてがんネットワークジャパンの柳澤昭浩さん、オンコロの可知健太さんが

加わって行われました。質問は、皮膚障害や治験、がんになってもポジティブでいることについてなど多岐にわたりました。まとめでの、「希少がんは少ないけれど、ひとりじゃないということを知ってもらいたい」という徳永さんの言葉が印象的でした。



最後に希少がんセンター長である川井章先生、そして病院長の西田俊朗先生の挨拶でセミナーは締めくくられました。参加者からは「インターネットでは知ることのできない情報や患者の思いなどを聞けて勉強になった」などの感想があり、多くの人に有意義なセミナーとなったようです。



(開催日:2017年1月13日/写真・文 木ロマリ)

【共催】

国立がん研究センター希少がんセンター/認定 NPO 法人がんネットワークジャパン/がん情報サイト「オンコロ」

【後援・運営協力】

株式会社かるてぽすと/樋口宗孝がん研究基金/株式会社クリニカル・トライアル/株式会社クロエ